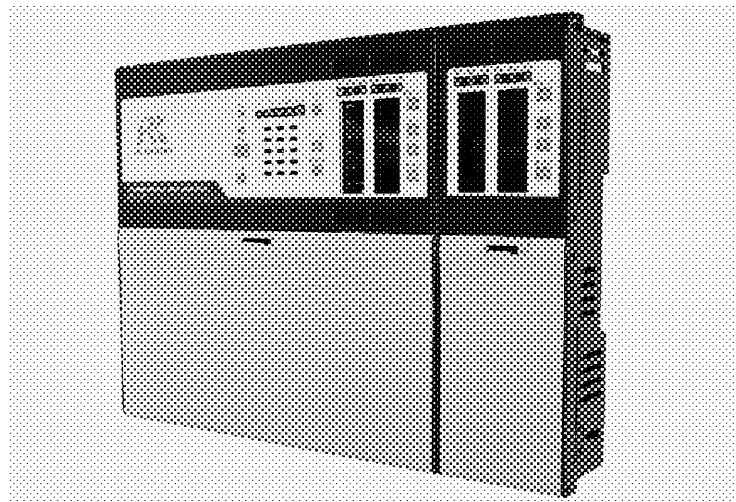


# 停電時漏えい 3日以上監視

## 理研計器、ガス検知警報器

理研計器は災害などによる停電時に、ガス漏えい監視を3日以上継続できる可燃性ガス検知警報器を開発した。23日に受注を始める。電源のオン・オフを一定間隔で繰り返す間欠測定を採用し、保安電源の駆動時間を従来の約160分間から大幅に延ばした。停電時に余裕を持って復旧対策ができる。年間販売目標は700台で国内でのみ展開する。

開発した「GPI-1」(LPG)や圧縮天然ガス(「CNG」)は液化石油ガス(「LPG」)や圧縮天然



など可燃性ガスに特化した検知警報器。拡散式の可燃性ガス検知器を6個接続した場合に、間欠測定でガス漏えい監視を3日以上継続する。炎検知器の接続も可能で、水素センサーなどの炎検知器と可燃性ガス検知器を併設する設備を1台で一括監視できる。

消費税抜きの価格は保安電源あり・検知部4点式で34万3500円。サイズは同タイプで幅395mm×高さ290mm×奥行73mm。従来機種「GPI-147」と形状が同じなため、容易に置き換えられる。

▲可燃性ガス検知警報器「GPI-148」。保安電源ありの検知部4点式

▲示計ユニット一つにつき